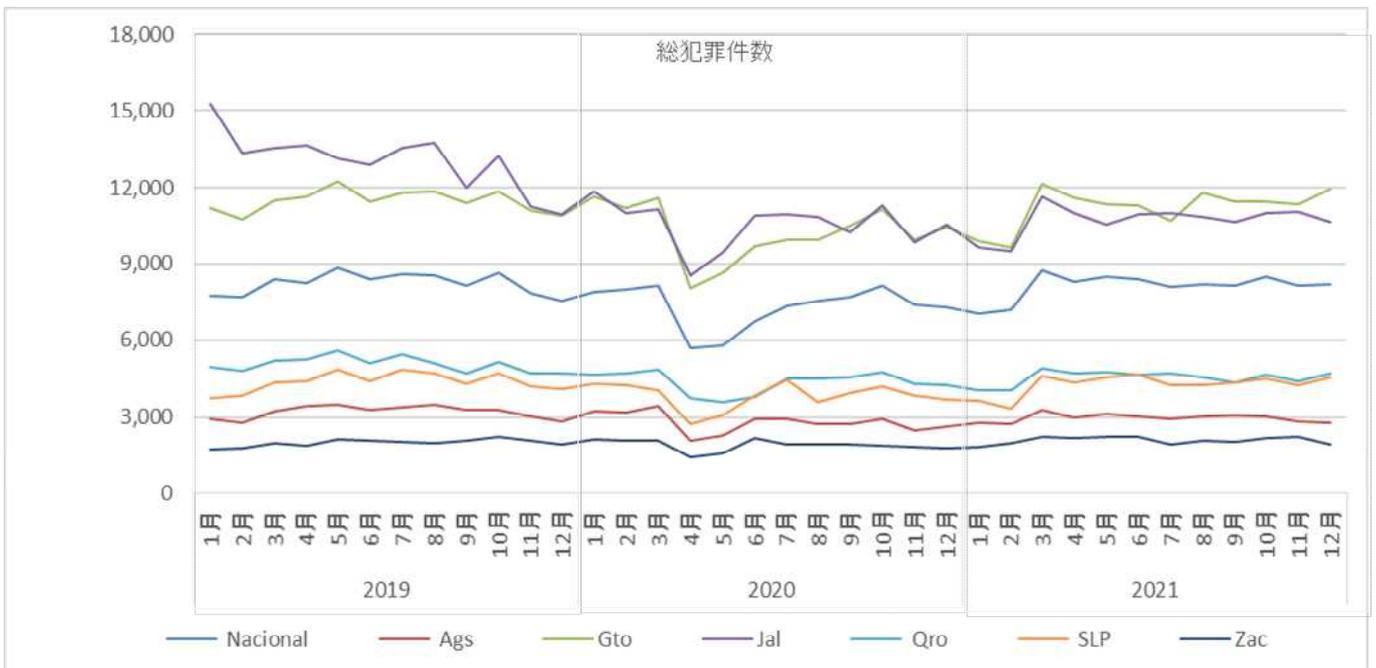


1 バヒオ地区・治安情勢

(1) メキシコ公安省の発表では、バヒオ地区6州の2021年1月～2021年12月までの総犯罪認知件数は429,354件と前年同期（2020年1月～2020年12月）403,670件に比べ6.0%増加しています。2020年はコロナの影響もあり4月に大幅に減少しましたが、その後は徐々に増加傾向となり2021年3月には2019年と同水準となっています。特にグアナファト州（GTO）とハリスコ州（JAL）は、州内の犯罪傾向は異なるものの、全国の平均犯罪総件数を大きく上回っており十分注意が必要です。

(2) メキシコ国内では複数のカルテルが存在しており、故意殺人の多くはカルテルによる抗争が大きく関わっているとされています。特にGTO州についてはサンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル（CSRL）とハリスコ新世代カルテル（CJNG）との抗争が数年間続いている影響もあり、故意殺人の件数は全国で1位となっています。また、カルテルによる治安当局関係者（警察官など）の殺害も全国で一番多い州でもあります。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者や窃盗団などの犯罪組織とされていますが、犯罪組織同士の銃撃戦やターゲット殺害時に一般市民が巻き込まれるケースもあるため十分注意が必要です。



バヒオ地区6州の犯罪認知総数（2019年6月～2021年9月）

2 管轄地域内における一般犯罪の傾向

(1) グアナファト州（人口616万人） 犯罪認知総数（10月～12月）34,776件（7～9月累計より2.5%増）
 殺人件数は減少傾向ではあるものの高止まりの状態が続いており、多くがレオン市やセラヤ市で発生しています。殺人事件が多い背景にはカルテルの抗争による影響が大きく、それに加えて故意傷害や強盗の件数も他の州に比べて高いため注意が必要です。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	増減率
故意殺人	752	735	690	676	-2.0%
故意傷害	2,805	3,411	3,013	3,231	7.2%
強盗	2,707	2,169	2,487	2,537	2.0%
窃盗	5,071	5,182	5,268	5,390	2.3%

脅迫	2,178	2,723	2,389	2,622	9.8%
誘拐	4	1	3	2	-33.3%
麻薬密売	5,306	6,277	6,295	6,098	-3.1%
強姦	204	232	214	246	15.0%

(2) アグアスカリエンテス州 (人口 142 万人) 犯罪認知総数 (10 月～12 月) 8,655 件 (7～9 月累計より 4.2%減)

犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率 (人口の割合) では窃盗や強盗が多く発生している州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市で発生しており、車上荒らしの邦人被害も目立ちます。貴重品は車内に残さないなど犯罪に遭遇しないための対策をお願いします。

■主な犯罪	1 月～3 月(件)	4 月～6 月(件)	7 月～9 月(件)	10 月～12 月(件)	増減率
故意殺人	18	20	21	26	23.8%
故意傷害	819	965	868	823	-5.2%
強盗	212	222	213	223	4.7%
窃盗	2,201	2,297	2,424	2,311	-4.7%
脅迫	790	922	938	893	-4.8%
誘拐	1	0	1	0	-100.0%
麻薬密売	751	152	120	90	-25.0%
強姦	91	95	96	83	-13.5%

(3) ハリスコ州 (人口 834 万人) 犯罪認知総数 (10 月～12 月) 32,714 件 (7～9 月累計より 0.6%増)

強盗が非常に多く発生している州です。特に強盗は日本人被害件数も多く、銃器を使用した犯行となっていることから、一歩間違えれば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く注意が必要です。早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。

■主な犯罪	1 月～3 月(件)	4 月～6 月(件)	7 月～9 月(件)	10 月～12 月(件)	増減率
故意殺人	514	520	433	427	-1.4%
故意傷害	1,799	2,203	2,018	1,872	-7.2%
強盗	4,649	4,544	4,929	4,757	-3.5%
窃盗	7,793	8,210	8,606	8,590	-0.2%
脅迫	2,529	2,658	2,628	2,434	-7.4%
誘拐	5	7	3	4	33.3%
麻薬密売	275	267	292	300	2.7%
強姦	113	141	127	137	7.9%

(4) ケレタロ州 (236 万人) 犯罪認知総数 (10 月～12 月) 13,741 件 (7～9 月累計より 1.5%増)

犯罪の多くがケレタロ市で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナファト州やメキシコ州、メキシコシティの治安も悪く、車両強盗も多く発生していますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路を利用するなどの対策が必要です。

■主な犯罪	1 月～3 月(件)	4 月～6 月(件)	7 月～9 月(件)	10 月～12 月(件)	増減率
故意殺人	47	57	42	49	16.7%
故意傷害	1,120	1,359	1,152	1,137	-1.3%

強盗	553	623	576	598	3.8%
窃盗	4,682	4,676	4,866	5,293	8.8%
脅迫	1,011	1,168	979	835	-14.7%
誘拐	1	5	6	3	-50.0%
麻薬密売	284	264	275	331	20.4%
強姦	169	168	165	181	9.7%

- (5) サンプルスポトシ州 (人口 282 万人) 犯罪認知総数 (10 月～12 月) 13,232 件 (7～9 月累計より **3.6%増**)
 犯罪の多くはサンプルスポトシ市で発生しております。邦人被害が多い強盗や窃盗が増加傾向となっておりますので、早朝や夜間の給油、コンビニで強盗被害に遭われている方もいらっしゃいますので十分注意して下さい。

■主な犯罪	1 月～3 月(件)	4 月～6 月(件)	7 月～9 月(件)	10 月～12 月(件)	増減率
故意殺人	186	188	140	124	-11.4%
故意傷害	882	1,156	954	938	-1.7%
強盗	685	832	969	1,296	33.7%
窃盗	2,243	2,418	2,759	2,906	5.3%
脅迫	610	848	718	658	-8.4%
誘拐	7	2	3	2	-33.3%
麻薬密売	306	203	192	321	67.2%
強姦	156	177	158	145	-8.2%

- (6) サカテカス州 (162 万人) 犯罪認知総数 (10 月～12 月) 6,308 件 (7～9 月累計より **3.7%増**)
 犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率 (人口の割合) を見ると故意殺人は、他の州と比べても非常に高い数値となっているため十分注意する必要があります。殺人の多くは麻薬関係者と言われておりますが、サカテカス州では複数の麻薬カルテルが抗争を行っているため、十分注意が必要です。

■主な犯罪	1 月～3 月(件)	4 月～6 月(件)	7 月～9 月(件)	10 月～12 月(件)	増減率
故意殺人	284	258	309	289	-6.5%
故意傷害	410	498	391	425	8.7%
強盗	443	440	382	473	23.8%
窃盗	1,056	1,046	1,085	1,198	10.4%
脅迫	272	344	332	318	-4.2%
誘拐	4	2	6	5	-16.7%
麻薬密売	66	90	100	57	-43.0%
強姦	73	85	68	75	10.3%

3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) 麻薬に関係する犯罪組織の抗争が激化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやディスコ等の出入りについて極力避けるとともに、違法薬物には一切かわらないことが大切です。また夜間を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、発砲事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の変化に敏感になれるよう注意して下さい。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メー

ル等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域への通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げることが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる死傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従って下さい。

- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車上荒らしが引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品の放置に注意が必要です。
- (4) バヒオ地区内では空き巣被害や強盗被害が目立ちます。万が一にも空き巣被害を確認した際には、まずは911（警察、消防、救急への緊急通報番号）通報し警察官同行のもと住居内の確認を行って下さい。犯人が住居内に残っていた場合、拳銃等を所持している可能性が非常に高いことから、住居区の警備員の同行であっても必ず警察官の到着を待って下さい。また、強盗被害に遭遇した場合は、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先して下さい。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず 911 番通報を行うよう心掛けて、犯人の逮捕を希望する場合は、検察局 (Ministerio Publico) に被害届を提出して下さい。

被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様へ注意喚起することができるとともに、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができるためご協力をお願い致します。

5 日本人被害の犯罪発生状況（2021年10月～12月）

バヒオ地区における日本人被害数は、2021年1月～9月で15件の報告を頂いております。2021年10月～12月は3件で減少傾向ではありますが、強盗被害や車上荒らしの被害が目立ちます。万が一、被害に遭っても抵抗せず相手の要求通りに行動して下さい。

被害日時	被害地域	被害場所	事件種別	被害状況
11月21日 (日) 6時半頃	グアナファト州 コマンヒージャ市	コマンヒージャ市内	強盗 路上 (駐車場も含む)	メキシコシティからグアナファト州へ向かう途中、コマンヒージャ市にあるガソリンスタンドが併設しているコンビニで買い物をしようと駐車。車のドアを開けようとした瞬間に拳銃を突きつけられ、自身の財布と妻の財布を強盗されたもの。
11月29日 (月) 23時45分頃	グアナファト州 イラプアト市	幹線道路	強盗 (運転中・交通機関乗車中)	23:30頃に会社を出て自宅に向かう途中、片側3車線の交差点で信号待ちをしていたところ、背後から3台の車が自車に近づき前方左右に2台、後方に1台と取り囲むように停車、犯人車両から男が1人ずつ(合計3名)が降車し銃及び刃物を突きつけ金銭を要求された。車の窓越しに財布と鞆を渡すと、財布から現金を抜き取り犯人は逃走。鞆については高価なものが入っておらず現金のみの被害であった。

12月22日 (水) 22時45分 頃	ケタロ州 ケタロ市	レストラン	車両窃盗	飲食店で食事後、近くに停めていた車へ戻る途中、暗がりからナイフを持った男が現れ脅された。後ずさりしようとしたところ、もう一人の犯人がリュックをはぎ取り逃走した。車の鍵も奪われたが、携帯は無事であったため同僚に助けを呼んだ。
------------------------------	--------------	-------	------	---

以上